



目指す学校

都立の中堅校として、学習指導、生活指導、進路指導等を通して、生徒の資質・能力を伸ばし、自立した社会人として必要な学力を確実に身に付ける学校を目指す。具体的には、本校での3年間の学習により、いわゆる「日東駒専」以上の大学に合格が可能な学力を保証する。そのために、1 学力の向上による希望進路の実現、2 活力のある学校生活の実現、3 地域等との連携と情報発信の実現、4 適切な経営支援の実現の4つを、目指す学校の柱（中期的目標）とする。また、その目標を踏まえ、以下の3項目を、目指す学校の具体的な数値目標とする。

ステップⅠ：3学年最終の模擬試験の平均点偏差値を、各科目で50以上とする。

ステップⅡ：大学入試センター試験の平均点偏差値を、各科目で50以上とする。

ステップⅢ：「日東駒専」以上の大学の現役合格者数を、のべで140名以上とする。

中期的目標と方策 (方策：①～⑧)	今年度の取組目標 と方策（方策：○）	教育活動の目標と方策 (方策：○)	重点目標と方策 (方策：○/下線：目標)
1 学力の向上による希望進路の実現。 ①難関大学への進学に必要な確かな学力の育成を目指す。	①指導内容や方法の改善により授業力を高め、生徒の学力の向上を図る。 ○「学力スタンダード」を活用した、指導と評価の改善。 ○コーチング・スタッフの活用。	①-1 家庭学習の定着を図る。 ○保護者と連携し、生徒が主体的に学習に取り組む態度の育成。 ①-2 講習等の講座数を増加させる。 ○予備校による講習を含めた講習等の充実。 ①-3 読書活動を通して、広く深い知識の獲得を目指す。 ○学校図書館と教科が連携した読書指導の推進。	①-1 平均家庭学習時間の増加。 ○1・2年生で <u>1時間以上</u> 、3年生で <u>3時間以上</u> の平均家庭学習時間を数値目標に設定。 ①-2 講習受講者数の増加。 ○講習等の参加者数のべ <u>650人以上</u> を数値目標に設定。 ①-3 生徒の不読率の減少。 ○不読率 <u>22%以下</u> を数値目標に設定。
②進路に関する高い目標の設定とその実現を目指す。	②大学受験は一般受験を前提とした指導を行い、模擬試験等のデータを有効に活用する。 ○勉強合宿の実施。 ○進路ガイダンス、進路講	②-1 三年間を見通した体系的な計画に基づく指導を継続する。 ○「進路の手引き」等の活用。	②-1 センター試験の受験者数の定着。 ○センター試験の受験率 <u>85%以上</u> を数値目標に設定。

	演会等の計画的な実施。	②-2 早期に進路目標を設定させ、目標に向かった学習等を計画的に行わせる。 ○模試分析会を定期的の実施する。	②-2GMARCH以上の大学への現役合格者数の増加。 ○GMARCH以上の大学への現役合格者数の<u>べ40人以上</u>を数値目標に設定。
2 活力のある学校生活の実現。 ③特別活動の充実に向けた取組の継続を目指す。 ④基本的な生活習慣を確立させる指導の継続を目指す。	③部活動と学校行事の充実に向けた取組を実施する。 ○部活動と学校行事の在り方の検討と改善。 ④「生活指導指針」を踏まえた規範意識の醸成と、健康体力の向上を目指す指導を推進する。 ○遅刻防止、挨拶の励行、身だしなみ、授業規律の指導の継続。	③ 文化部も含めた、部活動の一層の活性化を図る。 ○休養日の設定など、部活動の在り方の検討。 ④-1 学校生活でのルールやマナーを遵守する態度を育て、いじめの根絶を継続する。 ○登校時の遅刻防止、挨拶の励行、身だしなみ等の指導の継続。 ④-2 「学校健康推進計画」に基づく学校保健の充実により、健康や体力の向上を目指す。 ○専門医の講話や学校保健委員会の活用による保健指導の充実。 ④-3 組織的な清掃や美化活動に、継続して取り組む。 ○清掃や美化指導の徹底。	③ 部活動加入率の維持。 ○部活動加入率<u>100%以上</u>を数値目標に設定。 ④-1 体罰、いじめ、自殺の根絶の維持。 ○アンケートによる体罰といじめの<u>件数ゼロ</u>を数値目標に設定。 ④-2 「アクティブプラン to 2020」に基づく基礎体力の向上。 ○体力テストの結果の<u>東京都平均以上</u>を数値目標に設定。 ④-3 校内美化に関する学校評価等での肯定的回答の増加。 ○学校評価アンケートでの肯定的回答<u>80%以上</u>を数値目標とする。
3 地域等との連携と情報発信の実現。 ⑤地域等との連携に	⑤伝統文化の尊重と国際理解に関する教育を推進する。 ○地域や外部関係機関と	⑤ 国際理解とオリンピック・パラリンピック教育を推進する。 ○外国大使館等との交流。	⑤ 日本の伝統文化やオリンピック・パラリンピックに関する行事の実施及び参加。

より、伝統文化と異文化を理解する態度の育成を目指す。 ⑥情報発信と、生徒募集に関する広報活動の推進を目指す。	も連携した、オリンピック・パラリンピック教育の推進。 ⑥教育活動を中心に、中学生とその保護者等を対象とした広報活動を、積極的に実施する。 ○各種説明会、学習塾訪問、体験授業、体験部活動等の実施。		○「東京都オリンピック・パラリンピック教育」実施方針に基づく行事の実施<u>2回以上</u>を数値目標とする。
4 適切な経営支援の実現。 ⑦経営企画室と各分掌や教科等との連携により、円滑な教育活動の実現を目指す。 ⑧ライフ・ワーク・バランスの推進を継続する。	⑦計画的かつ効率的な予算配分と執行を継続して実施する。 ○経営企画室と分掌組織など、関係部署の連携の強化。 ⑧「学校における働き方改革推進プラン」に基づく取組を推進する。 ○部活動指導と土曜日授業の在り方の検討。	⑥-1 教育活動等の情報を積極的に発信し、生徒募集に努める。 ○ホームページとSNSを活用した情報の発信。 ⑥-2 各種説明会等を複数回実施し、外部での説明会等にも参加をする。 ○学校案内を都内の中学校への配と、重点地区を中心とした学習塾訪問の継続。 ⑦ 経営企画室と管理職等とが連携し、計画的な予算編成を行う。 ○経営企画室と教職員が連携した適正な予算の執行。 ⑧ 校務の縮減と効率化を心がけ、実働勤務時間の削減を目指す。 ○委員会等の業務の見直しと会議の効率化。	⑥-1 ホームページとSNSの随時の更新。 ○年間更新回数<u>200回以上</u>を数値目標とする。 ⑥-2 推薦に基づく選抜と学力検査に基づく選抜の倍率の定着。 ○推薦<u>4倍以上</u>と学力<u>2.3倍以上</u>を数値目標とする。 ⑦ 次年度の予算編成指針の適正な時期の策定と自律経営推進予算の計画的な執行。 ○<u>11月までの</u>策定を数値目標とする。 ⑧ 教職員の意識改革と業務の見直しによる在校時間の減少。 ○月当たりの定時外在校時間が<u>80時間を超える教職員をなくすこと</u>を数値目標とする。